

環境関連法令などへの対応

関連する法律や条例、公害防止協定の遵守に努めています。

各事業場は、公害防止と環境の関係法令、公害防止協定ならびに自主基準の順守に努めてきました。2007年度、佐賀工場における自社測定値(換算値)で排水のBOD基準値(公害防止協定の日間平均値)の超過および、メタノールの漏洩による雨水排水路からの流出事故がありました。また、高崎工場でも、汚水の漏洩による雨水排水路からの流出事故がありました。いずれの件においても関係機関などへの連絡・事情説明を行い、直ちに対応措置を取ったため実質的な被害はありませんでした。その後、緊急対策として全事業場において、漏洩に関する徹底的な見直しを実施しました。

法令改正のポイント

■「食品リサイクル法」の改正

食品の売れ残りや食べ残し、または、食品の製造過程で発生する食品廃棄物を、発生抑制と減量化により減少させ、飼料や肥料などに再生利用するため、食品関連事業者による食品循環資源の再生利用などを促進する法律です。2007年6月の改正ポイントは、①事業者の定期報告義務の創設、②再生利用事業計画が主務大臣の認定を受けた場合、一般廃棄物の収集運搬許可が不要、③再生利用などの手法に熱回収を追加、の3点です。

■「エネルギーの使用の合理化に関する法律」の一部改正

大幅にエネルギー消費量が増加しているオフィスやコンビニ、住宅、建築物にかかわる省エネルギー対策を強化するために改正がされ、2008年5月に公布されました。事業者に対するものとしては、工場単位から事業者単位でのエネルギー管理義務(フランチャイズチェーンについても、一事業者と捉える)が導入されました。これにより、オフィスやコンビニなどの業務部門でも省エネ対策が強化されます。

2007年度の主な環境関連法令への取り組み状況

法律名(解説)	取り組み状況
容器包装リサイクル法 容器包装材(ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器)のリサイクルを事業者が義務づけた法律。	医薬品関連商品と消費者商品分野の各種製品で容器包装を使用しています。リサイクルしやすい製品の開発を進め、PETボトルの製品は「PETボトル自主設計ガイドライン」に適合するよう努めています。
廃棄物処理法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律。廃棄物の排出抑制ならびにその適正処理などにより生活環境の保全、公衆衛生の向上を目的としている。	6事業場、研究所、オフィスから廃棄物が発生します。適切な焼却施設の運用を行うとともに、産業廃棄物のマニフェストを含む適正処理の運用を行っています。
大気汚染防止法 大気汚染物質とされている硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)、ばいじんなどの排出基準値を事業者に対して制定した法律。	6事業場、研究所において、SOx、NOx、ばいじんなどを排出しています。大気汚染への環境負荷を低減するために、硫黄含有量の少ない重油や都市ガスへの転換などを図り、排出量の低減に努めています。
水質汚濁防止法 事業者に対してCOD(化学的酸素要求量)、BOD ^{*1} (生物学的酸素要求量)、SS ^{*2} (浮遊物質)などの定期的水質検査を行うことや規制基準を制定した法律。	6事業場、研究所において、河川や公共下水道に排出しています。排水の測定を実施し、規制値内で推移しています。
騒音・振動規制法、悪臭防止法 「騒音・振動」は、事業活動による騒音・振動の測定を実施することを義務づけ、「悪臭」は事業活動にともなって発生する臭気に対して防止対策を義務づけた法律。	6事業場、研究所において、周辺に騒音・振動・悪臭を発生させる可能性を持っています。騒音・振動については夜間も含めて事前評価をはじめ、防音・防振対策を行っています。悪臭についても事前評価を行い、防臭対策を講じて適正管理を行っています。
PRTR法 Pollutant Release and Transfer Registerの略。事業者が環境汚染物質や環境汚染の恐れのある化学物質の排出量・移動量の把握と管理を義務づけた法律。	医薬品メーカーという業種のため、さまざまな化学物質を事業場、研究所で使用しています。塩素系有機溶剤の使用を回避し、非塩素系溶剤へ代替することで、大気への排出量を抑制しています。また、回収装置の日常管理を実施し、大気への排出量を抑えています。
ダイオキシン類対策特別措置法 ダイオキシン類への規制措置を盛り込んだ法律。大気、水質、土壌の環境基準と発生施設からの排出基準を定めた法律。	焼却炉を所有する事業場より、大気などにダイオキシン類を排出していません。適切な施設の運用を行うとともに、廃棄物の適正化処理の徹底を図り、排気ガス中のダイオキシン類濃度の低減に努めています。

*1 BOD(生物学的酸素要求量)：好気性バクテリアが水中の有機物を酸化分解するのに必要な酸素量で、水質汚濁指標のひとつ。河川の汚濁指標として用いられる。
 *2 SS(浮遊物質)：水中に浮いている直径2mm以下の非常に小さい粒子状物質のこと。この数値が大きいと、工場排水からの有機物や金属の沈殿物などが多く含まれている。